



<学長選>意向投票

総長会見特集号

廃止するつもりない！

— 1月28日に2年ぶり総長会見行う！ —

せんだって、1月28日に2年ぶりとなる組合との「総長会見」が行われました。

当局側からは総長のほか事務局長及び総務企画部長が出席し、組合からは間宮委員長を先頭に5名の執行委員が出席して午前11時から11時半までの30分間行われました。

冒頭、間宮委員長が、「総長会見にあたっての6項目の申し込み事項」を説明し、会見にうつりました。以下に、各項目ごとに総長の回答内容を紹介いたします。

- まずは、学長選出規定の改定に着手するのか。学長のリーダーシップの名のもとに「独断専行」の実態が進行する恐れはないのか。

◆国立大学法人法に選考会議が行うと規定されている。学校教育法の改正で学長権限についての言及があったが、あくまでも選考会議が行うことである。選考会議から意向投票を廃止するつもりはない、と聞いている。学長任期の4年の後の2年というきまりは北大だけになったが、現在選考会議で議論中だ。

- 2015年6月8日付、(国立大学法人の組織及び業務の見直しについて、1の「組織の見直し」)「国立大学法人の第2期中期目標期間終了時における組織及び業務全般の見直しについて」(文部科学大臣名)で示された、「第3期中期目標・中期計画が本決定に沿った内容となるように国立大学法人に求め所要の措置を講じる」ということについて。北大の対応状況はどうか。

特に、「人文・社会科学、学際・特定分野は18歳人口動態も踏まえつつ、全学的な機能強化の観点から、定員規模・組織の在り方の見直しを積極的に推進」とあるが、これについて、北海道大学においてはどういう対応の状況であるか。

◆文部科学省の通知文書の内容がまずかった。学校教育における少子高齢化への対応が言われており、教員養成系の大学にとっては厳しい議論だと思う。北大教育学研究院などは該当しない。第三期目標においても引き続きこれまでの定員規模・組織が続くものと考える。

3. 同、6月16日付、文部科学大臣が「国旗を掲揚し国歌を斎唱すること」について、「最終的には各国立大学の判断」されている。報道によれば、総長は、斎唱については「入学式も卒業式もオーケストラ寮歌演奏など伝統的な様式があり、それを変える必要がない」と仰せである。あらためて、これをどう考えているか。

◆確かに、文科大臣が国立大学学長会議でその内容にふれているが、国立大学の意向を尊重すると言っている。北大の理念（フロンティア精神、国際性の涵養、全人教育、実学の重視）などが浸透していると考えられる今の伝統的様式を引き継いで行き、国歌の歌唱はおこなわない。新聞でもそのように申しあげた。

4. 防衛省の「安全保障技術研究推進制度」について。「大学の自治」も国家の軍事に協力した反省に端を発している。慎重に対応すべきであると考えるが、どう臨むのか。

◆基礎研究もサポートすると言っているし、北大は軍事研究についての特段の定めはない。基本的には教員の倫理、北大の倫理憲章（『北海道大学教育倫理および科学者の行動規範の制定』）もある。研究者に向けての制度だと思う。必要があれば対応する。

5. 北海道大学における教職員の働き方について問いたい。職員のなかからメンタルヘルスを損ねて休業するものが続出している。「働きやすく働きがいのある北海道大学」という職場を創造するための方針は何か。関連して、「スーパーグローバル大学」など外部競争資金により超多忙を強いられているなかで、非正規雇用教職員が3,250人を超えており、この人たちの雇用期限は最大5年でしかない。人間らしく生きる、そのための「職場づくり」という観点から、この人たちの労働条件改善をどのように考えているか。

◆競争的資金により非常勤職員が増えている。国の財政状況の反映であり、年々減らされてきている予算が厳しい状況である。教育資金が競争的資金に転化して、非常勤職員が任期付きになっている。働き手が安定的な雇用形態を望んでいると思うが、我々としても努力しているつもりであるが、任期のない雇用は今のところできない。痛し痒しの問題だ。昨年は、年間に100名ほどの応募があって、2~3名が常勤雇用になっている

◆職員におけるメンタルヘルスの問題は、把握している。（追加質問に課長が回答）

6. 10月26日、財政制度審議会において財務省が示した今後の国立大学運営交付金に関する提案について、他大学から危惧の念を抱くという表明が出されている。北海道大学としても同様に声をあげるべきではないか。

◆北大の基本スタンスは、国大協の中で動いている。国立大学サポート議員連盟ができ、与党を中心に申し入れをしている。文科省も財務省に申し入れしており、平成28年度予算については、昨年度と同額を維持した模様と聞いている。全く安心はできないが、日本の置かれている状況から国立大学の中で要望していきたい。北大独自の声を出すということが効果的かどうかわからない。